

サ高住入居者にアルバイト制度導入

丸竹コーポレーション 自家発電機や給水タンク設置し地震の備えも充実

▶サービス付き高齢者向け住宅「フラワーホーム」の外観



大阪府泉南市にユニークな取り組みを行うサービス付き高齢者向け住宅がある。丸竹コーポレーション(同市)が運営する「フラワーホーム」だ。



丸竹コーポレーション(大阪府泉南市)立花克彦社長(54)

「超高齢化社会が到

来する中、高齢者の雇用問題や労働力不足解消に一翼を担いたい」。立花克彦社長がそんな思いで4年ほど前、土地を購入し、昨年11月に開設した同ホームでは、入居者に生きがいをもってもらおう取り組みの一つとしてアルバイト制度を設けている。希望者のみとし、週に2、3回の2〜3時間程度、館内の清掃や植物の水やり、切り絵などイベント時の講師に加え、同社が手掛ける重度障害者多数雇用事業所において梱包やラベル貼りの補助を行うという。

ソフト面は、医療・看護・介護のサポート体制を整え、館内にはクリニックを併設し入居者が屋外に出ることなく通院できるようにしている。そのほか娯楽設備としてカラオケやグラウンドゴルフの練習場、図書コーナー、喫煙室まで完備している。さらに、より快適な暮らしにしてみようという3カ月一度、入居者と立花社長をはじめ、スタッフ一同が出席して懇談会を実施。要望や改善策を館内の掲示板やホームページに公開している。

一方ハード面では、関西国際空港に近いこともあるため防音性を高め、耐震、耐火、断熱性に優れた重量鉄骨造を採用した。建設は東建コーポレーション(愛知県名古屋市中)が施工を担当。自家発電機や給水タンクを設置するなど地震への備えも充実させた。そのほか、廊下幅を一般的なサ高住より広く取ったり、オスマイト対応トイレを共有部分に設けるなどしている。

全40戸、50人定員に現在、自立から要介護のある60〜95歳の入居者が暮らしている。立花社長は「雇用の創出および、地域に貢献できるよう努めたい」と意気込みを語った。

▶リビングからつくづく広い廊下

